

カダストラル・スタディーズ FIG報告(1) 概要と総会



STOCKHOLM 2008

2008年 6月 14日から 19日まで、スウェーデンのストックホルムにおいて、FIG（国際測量者連盟）第31回総会（31st General Assembly）および 2008年作業週間（Working Week 2008）が開催されました。会報の新シリーズ「カダストラル・スタディーズ」では、これから数ヶ月の間、ストックホルムでの会議の様子をお伝えしていきたいと思っております。第1回は、会議の概要と総会の様子です。

【概要】

FIG（国際測量者連盟）とは、1878年に創設された、あらゆる測量分野を代表する唯一の国際団体で、国際連合が承認している NGO です。世界 100 カ国以上の測量関連組織が加盟しており、あらゆる分野・用途における測量の発展に向けて国際協力を支援していくことを目的として活動しています。具体的な研究・議論は、主として 10 の委員会に任されており、特に、第 7 委員会「地籍と土地管理（Cadastre and Land Management）」では、土地家屋調査士業務とも関連の深い地籍や登記に関するテーマが扱われています。毎年 1 回開催される総会および作業週間は、FIG 最大のイベントとなっています。（<http://www.fig.net/general/profile.htm> 参照。）

今年は、6月 14日から 19日まで、スウェーデンのストックホルムにおいて、第 31 回総会および 2008 年作業週間が開催されました。今回の作業週間のテーマは「世代間の統合（Integrating Generations）」であり、学生から古参まで世界 90 カ国から約 950 名の参加者が集まり、多数の研究発表が行われたほか、FIG と UN-Habitat（国連人間居住計画）の共催セミナー「革新的融資によるスラム状態の改善（Improving Slum Conditions through Innovative Financing）」も行われ、活発な議論がなされました。

会場となったのは、ストックホルムの中心街に位置するストックホルム市会議場（Stockholm City Conference Centre）で、表のようなスケジュールで会議が行われました。会議への参加登録は 14 日の 13:00 から始まりましたが、日本からの参加者は日本土地家屋調査士会連合会からの 2 名のみでした。



表:総会および作業週間のスケジュール

| 時間 | 6/15 (月) | 6/16 (火) | 6/17 (水) | 6/18 (木) | 6/19 (金) |
|-------|-----------------|-------------------------|---------------------|----------------------|----------------------|
| 9:00 | 総会 (第1回) | オープニング セレモニー | プレナリー セッションII | プレナリー セッションIII | 総裁会議 (8:00 ~ 非公開) |
| 10:00 | | | | | |
| 11:00 | 総会 (第1回) | プレナリー セッションI | テクニカル3 & セミナー | テクニカル6 | 総会 (第2回) |
| 12:00 | 昼食 | 昼食 | 昼食 | 昼食 | |
| 13:00 | 総会 (第1回) | テクニカル1 & セミナー | テクニカル4 & セミナー | テクニカル7 | 昼食 |
| 14:00 | 総会 (第1回) | テクニカル2 & セミナー | テクニカル5 & セミナー | テクニカル8 | クロージング セレモニー |
| 15:00 | 休憩 | 休憩 | 休憩 | 休憩 | |
| 16:00 | 委員会年次総会 | 休憩 | 休憩 | 休憩 | フェアウェル レセプション |
| 17:00 | | | | | |
| 18:00 | ウェルカム レセプション | FIG 財団ディナー (~ 22:30) | 測量士宅訪問 (~ 22:30) | ガラ・ディナー (~ 24:00) | |
| 19:00 | | | | | |

※テクニカル:テクニカルセッション、セミナー:FIG/UN-Habitatセミナー

【総会 (第 1 回)】

15日の 9:00より第 1回総会が始まりました。FIG総裁 Stig Enemark教授による開会の挨拶後、昨年の総会以降に亡くなられた FIG会員の冥福を祈るため黙祷が捧げられ、参加国の点呼がとられました。議事次第は次のとおりですが、議題のほとんどは、淡々と報告が進められ異議なく承認されました。



総会の様子

- 1.開会の挨拶
- 2.点呼
- 3.投票集計係の任命～前会議主催国である中国の組織および今会議主催国であるスウェーデンの組織から 1名ずつ
- 4.議題の採択
- 5.第 30 回総会の議事録の採択
- 6.会員～新規加盟団体の承認および証書の授与
- 7.総裁の報告
- 8.評議会による作業計画 2007 -2010 の実施報告
- 9.委員会の報告～諮問委員会の 2009 -2010 年の議長に Matt Higgins 氏が続投、2008 年 9 月にイタリアのペローナで第 7 委員会がセミナーを主催
10. 2008-2010 年の第 8 委員会委員長を任命～Diane Dumashie 氏 (英国)
- 11.常設機関の所長からの報告～OICRF (国際地籍・土地記録事務所) の宣伝のお願い、IIHSM (国際測量・測位歴史機関) からアフリカ支援の協力についてお願い
12. FIG 財団の総裁の報告

13. 国際連合および世界銀行との協力
14. 国際専門機関との連絡
15. FIGの規則および内部規定の改定
16. FIG 2013年作業週間の開催地の決定～締切りは 2009年
17. FIG 2007年の会計および監査報告、2008 -2009年の予算
18. 2010年の年会費～公平性および途上国と先進国の連帯をモットーとする、冊子『FIG Profile』を参照
19. 2009-2012年の副総裁選挙～第 2回総会で行われる選挙に向けて 4人の候補者から 5分ずつのスピーチ
20. 2009-2010年の委員会委員長選挙～第 2回総会で行われる選挙に向けて各候補者からスピーチ
21. 貧困対策の土地管理に向けた世界規模の土地及びツールを開発するための特別委員会
(Task Force on Developing Global Land and Tools for Pro Poor Land Management)
22. 制度的・組織的発展のための特別委員会 (Task Force on Institutional and Organisational Development)

【委員会の年次総会】

第 1回総会終了後、委員会ごとに年次総会 (Annual Meeting) が行われました。第 7委員会では、2008年 9月 11日 -15日にイタリアのペローナで行われる年次総会およびセミナーへの参加が呼びかけられました。

【総会 (第 2回)】

19日の 11:00より第 2回総会が始まりました。参加国の点呼とともに、各国代表は投票用紙を受け取り、2009 -2012年の副総裁 2名を選出する投票に移りました。52カ国の代表が参加していましたが、投票権があるのは、会費未納の 3カ国を除く 49カ国でした。投票の結果、Iain Greenway氏 (英国) と Teo Chee Hai氏 (マレーシア) が次期副総裁として選出されました。

続いて、いくつかの議題について報告があり、2009-2010年の委員会委員長を選出する投票に移りました。投票の結果、第 1委員会に Leonie Newnham氏 (オーストラリア)、第 3委員会 Yerah Doytsher教授 (イスラエル)、第 7委員会に Daniel Roberge氏 (カナダ)、第 9委員会に Frances Plimmer教授 (英国) が選出されました。なお、委員長候補が 1名であった第 2委員会は Steven Frank教授 (米国)、第 4委員会は Michael Sutherland博士 (カナダ)、第 5委員会は Mikael Lilje氏 (スウェーデン)、第 6委員会は Gethin Wyn Roberts博士 (英国) に決定しました。

その他の議事次第については、次のとおりです。

23. 総裁会議～ 8:30より非公開で行われた総裁会議において、「多数の論文発表があり活気があった反面、並行開催されたセッションが多すぎた」と反省が述べられたという報告
24. 点呼
25. 会員
26. 2009-2012年の副総裁選挙
27. 2009-2010年の委員会委員長選挙
28. 制度的・組織的発展のための特別委員会
29. 諮問委員会
30. FIG法人会員との協力
31. FIG出版物の紹介
32. 沿岸地域統合管理に関する FIGコスタリカ宣言
(The FIG Costa Rica Declaration on Integrated Coastal Zone Management)
33. 2009年 5月 3 -8日にイスラエルのエイラトで開催予定の FIG 2009年作業週間の報告～映像を交えて紹介
34. 2009年 10月 19 -22日にベトナムのハノイで開催予定の FIG第 7回地域会議 (7th Regional Conference)～映像を交えて紹介
35. 2010年 4月 9 -16日にオーストラリアのシドニーで開催予定の FIG 2010年作業週間の届出～映像を交えて紹介
36. その他～IIHSMよりシュトルーヴェの測地弧が世界遺産リストに登録されたことのお知らせ

【雑 感】

北緯 59 度に位置するストックホルム— 夜 11 時頃まで薄明るく、昼間の太陽が気持ちよい爽やかな季節でした。ちょうど夏至祭の時期にあたり、会議場には夏至祭のシンボルである花柱 (Flower Pole) が飾られていました。また、ダラホース (Dala Horse) と呼ばれる伝統的な木彫りの馬人形が、会議場をはじめ街のあちこちに飾られ、人々をあたたく迎え入れてくれました。

さて、FIG 会議の総会に参加して驚いたのは、その静けさでした。これまでに参加したことのある国際会議といえば気候変動枠組条約 (UNFCCC) 締約国会議くらいなものでしたから、総会といえばアメリカ・EU 諸国・中国・インド・OPEC 加盟国・島嶼国など各国の主張がぶつかりあう激しい場というイメージをもっていました。でも、よく考えれば、条約をめぐる議論する UNFCCC 会議と、測量の発展に向けて国際協力を支援していく FIG 会議では、性質が異なるのは当然— FIG 会議は、むしろ国際学会に近いのかもしれませんが、ただ、いわゆる学術的な国際学会とも異なるのは、FIG には、学者・研究者のみならず多くの行政担当者や実務者が関わっていること、そして、欧米諸国のみならずアジアやアフリカからの参加者が多いことだと思います。このことは、持続可能な発展といった国際的な課題に実践的に取り組んでゆく上で、たいへん重要なことであり、FIG はとても興味深い組織であると思いました。その FIG の理念を理解し、日常の業務を通じて世界の平和な土地管理に少しでも貢献できるのならば、土地家屋調査士の業務もなかなか意義深いものだなと、あらためて感じました。

次回 9 月号は、オープニングセレモニーとプレナリーセッションの様子をお伝えしたいと思います。

(取材：日調連制度対策委員 南城正剛、広報員 剣持智美)